

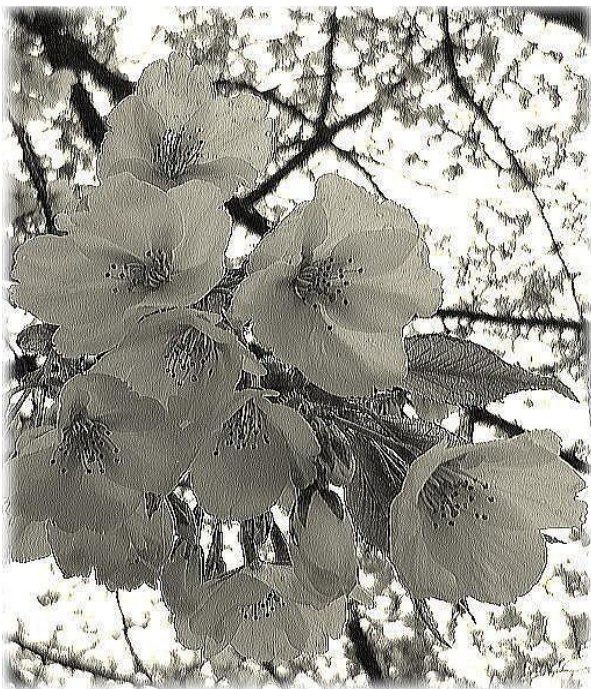
あおぞらだより

第119号 (発行/平成25年4月)

活動報告 ～春を迎えました～

お花見会のお知らせ

気 象



江戸川病院院長 新村ヨシオ

気象は自然の力によって変化し、変動を予測できない。気象の変動は大きな災害をもたらし、人命や財産を奪っていく。災害は季節によって地域差は生じる。局地的なものとしては、雷、突風、雹、豪雨などがある。広範囲になると前線停滞の長雨による水害、台風、寒波、熱波などの襲来があり、甚大な被害をもたらす。被害がでると必ず農業や漁業が打撃をうけ、農民や漁師の苦労は相当なものであろう。それでも、直接自然と向きあって仕事をしなくてはならない。海や田畑を離れて非難できない宿命を担っている。天候は容赦なく、変異を起こし、日本中のどこかで被害を出している。人間の英知を結集し、一機200～300億も

する気象衛星を軌道に乗せても、適格な予想もできず、警報も遅れて、後になって原因が発表される始末である。過去に比べれば格段の精度を得られるようになったが、想定外の災害もあるのでまだ満足はできない。

今年の冬は例年になく寒かった。医療に関しては冬は忙しくなるし、神経を尖らせる。それは感染症が流行するからだ。乾燥と低温がウイルスの増殖の条件で、対象は目に見えない侵略者なので本当に無気味である。インフルエンザやノロそして麻疹ウイルスなどの大流行が取り沙汰されてきた。医療機関には大勢の感染者が治療にくるので、院内感染は当然発生するのだが、使命として防止しなくてはならない。医療技術の革新により、ウイルスの検出や同定が容易になり、学術の充実もあって、

予防対策にもきめ細かな手段を講じなくてはならない。これは病院としては蔓延させる訳にもいかず、感染者を早期発見し、職員にも厳しい基準を設けて出勤停止に協力してもらってきた。面会者にも協力を願い、お帰り頂くこともあった。おかげでウイルス感染の拡大は防止できた。病院にとっては冬は大敵である。全国的にも冬になると病死者が多くなる。

関東に於いては成人の日に大雪が降り、交通機関は大混乱となり、雪に脆弱な都市を浮き彫りにさせ、懸案は一向に解決されないままである。路面の凍結で交通事故や転倒事故が多発した。ずっと寒さは続いていたが、2月に入ると立春前に20℃以上を記録し、気象庁の観測史上最高の気温と報道された。春遠からじと思ったら、以後は寒空が続き、梅林の開花も遅れていると便りがあった。北国では大雪警報は出たままで、これも観測史上最高積雪を更新し続けた。暴風雪に関連した事故も多く、雪おろし事故でも合計60人以上とのことだった。低温も記録的となっており、その苦勞にける言葉が見つからない。寒波の原因は偏西風が日本を南下し、蛇行したために、大陸からの寒気が列島を覆ったからと解説していたが、自然の力には人間は無力であると再認識させられた。

3月になると温暖になってきたが、中旬まで2日間の夏日があった。これも史上初めてのことであり、桜の開花予想が始まった。1から2月の寒さの記憶が強く、いくら夏日が続いたからと桜前線の話は時期早尚と思っていたし、春の嵐も各地を襲って被害が報告されていた。あっという間に3月19日に開花宣言となった。これも最速であると。冬から急に春になり、桜満開の便りを耳にしたら、花冷えとなり、予想よりも長く桜を楽しめた。今後の長期予報では、寒気の南下は何度か想定されており、季節はずれの寒さが訪れるので、冬物の整理は4月すぎがよろしいのではと説明があった。4月になったのに千葉県銚子では4月3日に風速40メートル以上の暴風雨が通過した。7日には北海道でも同様のことがあった。なにせ、気象は自然の物理的変化なのでエネルギーは大きく、人間はとて太刀打ちできないので、予報を確実にしてもらい、早目に対策し、減災を考えるべきなのであろう。春の嵐の強烈さを考えても、気象の激変は地球に何が起きているはずだ。この分では今年は超大型の台風が日本列島を縦断するかもしれない。



活動報告

～春を迎えました～

春ですネー！
青空に梅の花が映えてとてもきれい
やさしい梅の香りに癒されています♡

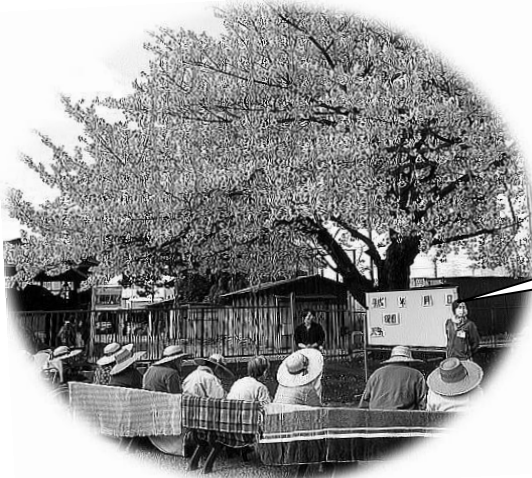


満開の桜の下でお花見
ン～気持ちいい

気持ち良い春の日差しを
浴び野外活動ダッシュ！



窓の外、寒い冬を乗り越え、梅の
開花で春の足音を知り、そして満
開の桜の季節を迎えました。



あおぞらの下、桜を見ながら
のラジオ体操。いつもより元
気な姿がみられました。



今月の脳トレ!!!

漢字を入れかえて、4つの四字熟語を完成させてください。

今月も脳トレで脳を元気にしましょう。

選 頓 捨 貧
怪 用 扱 理
乏 整 々 々
奇 取 整 器

お花見会のお知らせ

このたび、お花見会を開催することとなりました。合唱コンクールにロックソーランといった内容で楽しみたいと思っています。合唱は各病棟ごとに発表をします。患者さまをはじめスタッフも力を合わせ、はりきって練習をしております。日程は以下の通りです。ご家族の皆さまもぜひご観覧ください。

日時 : 4月20日(土) PM14:00~

場所 : 院内グラウンド

(※雨天時: 1・2・3病棟→ひまわり D・E病棟→D棟訓練室)

江戸川病院 4月 院内行事予定 誕生会

E棟	4月13日(土) PM2:00~	6Fホール
D棟	4月13日(土) PM2:00~	D棟訓練室
2-2棟	4月22日(月) PM2:00~	病棟
1棟	4月23日(火) AM10:00~	病棟
3-2棟	4月24日(水) PM2:00~	病棟
2-1棟	4月27日(土) PM2:00~	病棟

さくらんぼシアター 4月9日(火) PM2:00~ ひまわり

編集後記

新緑の季節となったこの春、緑は緑でも草ではなく、当院には緑の桜があるのをご存じでしょうか。あおぞら編集委員会でも、「緑のさくら知ってる?」「珍しいんだって」「えっ?なにそれ知らな〜い。」と話題になり紹介することにしました。

緑の桜の正体は「ギョイコウ(御衣黄)」というサクラの栽培品種。花期はソメイヨシノより遅く、京都市や石川県白山市では4月の下旬頃。緑になるのは葉緑体によるもので、江戸時代に京都の仁和寺で栽培されたのが始まりといわれ、御衣は貴族の衣服の萌黄色(黄緑系色)に近い事からそう呼ばれたとか…。当院の緑の桜は、内科棟の裏手にあります(詳しくは職員まで)。ぜひ、探してみてください。暖かくなるにつれ、患者様の外活動も増やしていく予定です。その様子も随時お伝えしていきたいと思っております。

『あおぞらだより』に関するご意見・感想・ご投稿などは『医療相談室』までお寄せ下さい。

(内線 238)

医療法人社団 全生会 江戸川病院

〒278-0022 千葉県野田市山崎2702
電話 04-7124-5511 (代)
<http://www.edogawa-hp.com>